



Art Spatial Journeys

- アートを観に行く習慣がない人でも、日常的にアートを感じられる空間の計画 -

佐藤理恵子

1. 経験

【オランダで過ごした小学生時代】



図1 オランダにおける道路のラウンドアバウトを活用したアート作品

私は、小学6年生までの3年間をオランダのロッテルダムで過ごした。その頃の私には、アートへの関心も知識もなかったが、通学途中の道路のラウンドアバウトを活用したアート作品に興味をいだいた。私のように、何かきっかけさえあれば、アート文化が根付いていないとされる日本でも、アートに興味を持つ人は多いのではないだろうか。そして、そのきっかけをつくるには、従来の展示空間の在り方を再編し、アートを観に行く習慣がない人でも、日常的にアートを感じられる空間を計画する必要があると考えた。

2. アートに関する現状の把握

私がなぜ日本にアートが少ないと感じたのか。その理由をアートに関するリサーチを通して考えてみる。

【「アート」とは】

英語のartという言葉は、日本語に訳すと「芸術」に当たる。大辞泉で「芸術」を引いてみると、以下のように書いている。

げい・じゅつ【芸術】

- 1 特定の材料・様式などによって美を追求・表現しようとする人間の活動。および、その所産。
- 絵画・彫刻・建築などの空間芸術、音楽・文学などの時間芸術、演劇・映画・舞踊・オペラなどの総合芸術など。「芸術の秋」「芸術品」
- 2 学芸と技術。

このことから、芸術すなわちアートは、美術館に展示されているものだけではなく、日常生活における趣味や娯楽にも深く結びついていることがわかる。

【リサーチから推測できること】

これらのリサーチから、日本では、美術館の中にアートが数多く展示されているため、アートに興味がある人のみがアートに触れる機会が多くなる。一方で、オランダを含め海外では、生活の中に多くのアートがあり、美術館へ行かなくても、アートに触れる機会を与えている。

【国内外における展示会の現状】

表1 日本の展示会開催件数の推移

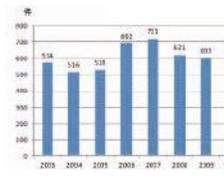


表2 日本の展示会入館者数の推移

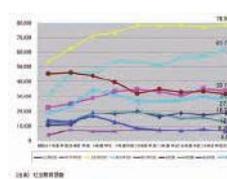


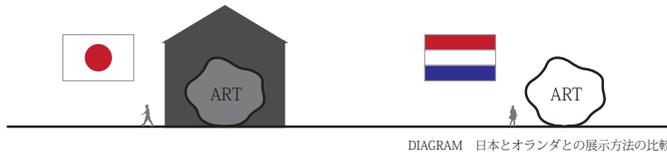
表3 日本における2014年後半の主な大型企画展の入場者数

展覧会名	開催期間	入場者数
『ルネサンスの巨匠』	2014年10月10日～12月14日	100,000
『モネ展』	2014年10月10日～12月14日	80,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	70,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	60,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	50,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	40,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	30,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	20,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	10,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	5,000

表4 世界における2014年後半の主な大型企画展の入場者数

展覧会名	開催期間	入場者数
『ルネサンスの巨匠』	2014年10月10日～12月14日	100,000
『モネ展』	2014年10月10日～12月14日	80,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	70,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	60,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	50,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	40,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	30,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	20,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	10,000
『印象派の巨匠』	2014年10月10日～12月14日	5,000

表1から表4までのリサーチより、日本では、海外と比較しても美術館を頻繁に利用する国民であることがわかる。



3. 海外の展示空間に関する研究

【研究対象】

「展示品が置かれている展示空間とその周りの空間との連続性」と「展示空間そのものにおける経路の一意性」を研究するにあたり、国内外の美術館の図面を用いて調査を行った。研究対象は、世界の美術館を幅広く掲載している雑誌「C3」の過去三年分（no.333～no.369）の資料の中から、「gallery」、「museum」、「art」、「exhibition(s)」、「exposition」のいずれかのワードを含むものとする。

【研究方法】

「展示品が置かれている展示空間とその周りの空間との連続性」の研究については、研究対象として抽出した建築物の平面図を読み取り、理解することから始める。平面図の中で、展示空間を読み取り、その周りに隣接している空間との連続性を五段階で分類していく。分類方法に関しては、以下を基準とする。

- 1: 他の空間から完全に孤立している
- 2: 他の空間と隣り合っているが、壁で仕切られている
- 3: 廊下や階段以外は壁で仕切られている
- 4: 壁で仕切られてはいないが、廊下や階段との連続性が少々弱い
- 5: 他の空間と連続している

「展示空間そのものにおける経路の一意性」の研究についても、研究対象として抽出した建築物の平面図を読み取り、理解することから始める。平面図の中で、展示空間を読み取り、その空間の中における歩行経路の一意性を五段階で分類していく。分類方法に関しては、以下を基準とする。

- 1: 方向性をもたない（ルートが自由）
- 2: 階や廊下をまたいでいるが、それ以外は方向性をもたない
- 3: 両方の要素を持ち合わせている
- 4: 方向性が強いが一部で方向性を持たないところがある
- 5: 方向性がある（ルートに縛りがある）

【研究結果】

「展示品が置かれている展示空間とその周りの空間との連続性」と「展示空間そのものにおける経路の一意性」の二つの研究結果を、建築物名の横に並べると、以下の表になる。

表5 no.333(2012年5月号)からno.344(2013年4月号)までの研究結果

建築物名	連続性(1-5)	経路の一意性(1-5)
333 Enzo Ferrari Museum/gallery	5	4
Enzo Ferrari Museum(Ferrari house)	3	5
Vila Vicosa High School	2	1
Francisco de Arruda School	2	1
334 Sacred Art Museum and Plaza	5	4
Yurihongo City Cultural Center.Kadare	2	1
Bicentennial Civic Center	3	5
Jean Cocteau Museum in Menton	3	1
Saffire Resort	3	3
Palencia Prison Renovation to Cultural Civic Center	2	3
Easter Sculpture Museum	5	4
336 City of Ocean and Surf	3	1
Nanjing Silang Art Museum	4	4
Sungbuk Gallery	2	3
337 Meenat Art Museum	3	2
MAC, Belfast	5	2
San Anton Charity School Restoration	2	3
Korea DMZ Peace and Life Valley	3	3
338 Capelinhos Volcano Interpretation Center	3	5
339 Space Art Center	3	3
School of the Arts	2	1
340 HanSeong Baekje Museum	2	4
Monteagudo Museum	4	4
Brooklyn Botanic Garden Visitor Center	5	4
Qingyu Youth Center	2	2
341 Neighborhood Office Building	3	3
Dream Downtown Hotel	4	1
Georges-Emile Lapalme Cultural Center	5	5
343 Daroca Archaeological Museum	2	2
344 Gehua Youth and Cultural Center	3	1
Cultural Center of EU Space Technologies	3	4
Banos Garcia Theater Rehabilitation and Expansion	5	3
Platform of Arts and Creativity	2	3
Trolier Festival Hall	5	4

表6 no.346(2013年6月号)からno.359(2014年7月号)までの研究結果

建築物名	連続性(1-5)	経路の一意性(1-5)
346 Parrish Art Museum	5	3
Lauree-Laris Museum	3	4
Perot Museum of Nature and Science	2	2
Great Museum of the Maya Civilization	2	2
Museum of Memory and Tolerance	2	2
The New Rijksmuseum	2	4
Machado de Castro National Museum	2	3
Triana Ceramic Museum	3	2
Water Circle	5	4
Motion Imagination	4	3
347 Casa Rex Office	5	5
348 Wexford County Council Headquarters	3	3
Zamora County Council	4	3
349 San Jorge Interpretation Center	5	1
Takern Visitor Center	5	3
350 Fernando Botero Library Park	2	1
Birmingham Library	2	1
Seinajoki City Library	5	4
Rush Library	4	1
Canoees High School	5	5
351 Vinus Bering Innovation Park	5	4
352 Plaza Major of UAM	2	1
Auckland Art Gallery	3	3
Mizuta Museum of Art	2	3
Tree Art Museum	5	4
353 Danish National Maritime Museum	3	3
Coedo Daque	2	4
Roberto Garza Sada Center for Arts, Architecture and Design	3	2
354 Giant's Causeway Visitor Center	5	1
Stonehenge Visitor Center	5	1
Jatunaman Visitor Center	2	3
Maat Foundation	5	4
355 Weeksville Heritage Center	4	1
356 Riverside Clubhouse	5	4
357 Daizy Velarde Cultural Center	3	3
Cultural Center in Castelo Branco	5	3
Alkha Ward Cultural Center	3	5
358 Draft Studio and House	2	3
359 Fogu Island Inn	2	1

表7 no.360(2014年7月号)からno.369(2015年5月号)までの研究結果

建築物名	連続性(1-5)	経路の一意性(1-5)
360 Aquatera Environmental Center	3	3
Trean Science Museum	3	1
361 Culture Complex De Nieuwe Kolk	3	2
CasaForum Zaragoza	2	3
The Eemthuis Cultural Center	3	3
ZIC National Film Archive	2	2
Dadong Arts Center	2	3
Perez Art Museum Miami	2	4
Louisiana State Museum and Sports Hall of Fame	5	2
The Museum of the History of Polish Jews	3	3
Multipurpose Hall Fitted in Former Gasholder	3	3
C-Mine	2	3
362 Brookhales Visitor Center	1	1
Bonjour Museum and Biodiversity Research Center	2	3
Fogo Island Natural Park Headquarters	2	1
364 Long Museum West Bund	3	3
MuCEM	2	2
Astrup Fearnley Museum	5	4
Canadian Museum of Human Rights	5	4
Taiwan Museum of Art	5	4
Palau Research and Experience Center	2	3
Aspen Art Museum	2	2
Mary Rose Museum	3	5
365 Badajoz Fine Arts Museum	3	3
Waterford Medieval Museum	3	3
Museum of Handcraft Paper	4	3
366 Pathe Foundation	3	2
Seona Rest Building	3	3
367 Antirroti Winery	2	3
Vucedol Archaeological Museum	5	4
Krkonoše Mountains Environment Education Center	2	1
Science Hills, Komatsu	3	2
368 Abedian School of Architecture at Bond University	5	4
Janus	3	3
Casal Balaguer Cultural Center	2	3
Harvard Art Museums	2	3
369 Confluences Museum	3	1
Viggo Alnæs Congress Center and Auditorium	5	4
IBC Innovation Factory	4	1
1350 Studio Office	2	2

【結果の概要】

研究結果から、修士設計において参考にするべき空間的特徴を読み取る。

表8 2つの研究結果を二方向軸(x, y)でまとめた散布図

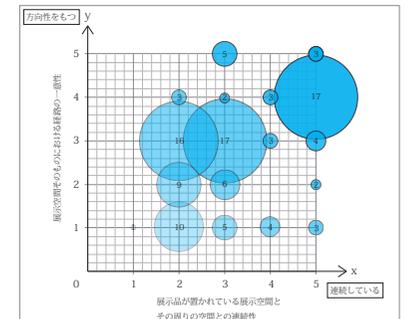


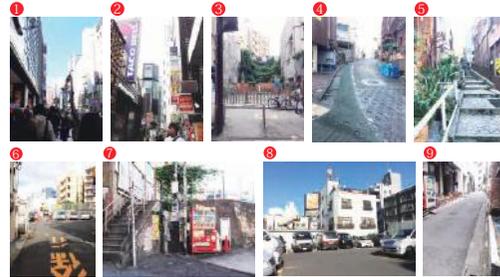
図4 研究から得られた10件の展示空間のパターン

- ① Eater Suljman Museum: 「エンタランスから展示空間までが一貫しているパターン」
- ② Parrish Art Museum: 「中継下階で展示空間が構成されているパターン」
- ③ Louisa Lisa Museum: 「展示物が歩行者の動線を決めるパターン」
- ④ Casa Rex Office: 「展示空間の内部と外部の両方になっているパターン」
- ⑤ Stonehenge Visitor Center: 「展示空間のパターン」
- ⑥ Louisiana State Museum and Sports Hall of Fame: 「空間を仕分けしない展示空間のパターン」
- ⑦ Brookhales Visitor Center: 「孤立した展示空間のパターン」
- ⑧ Canadian Museum of Human Rights: 「エンタランスから展示空間まで一貫しているパターン」
- ⑨ Mary Rose Museum: 「吹き抜けを中心として回廊型を利用した展示空間のパターン」
- ⑩ Vucedol Archaeological Museum: 「傾斜地を利用した展示空間のパターン」

3. 調査及び計画敷地について

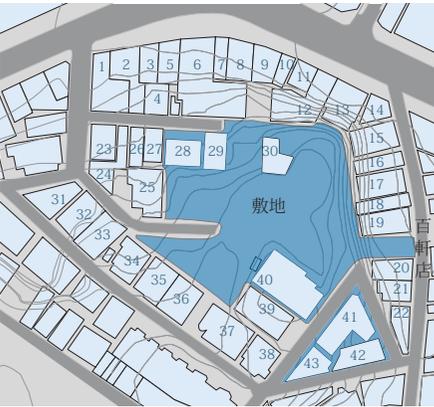


計画敷地を挟む文化村通りと道玄坂は傾斜が緩やかであるが、計画敷地は高台になっており、この二つの大通りからのアクセスがしづらくなっている。
特に、百軒店の中心部と計画敷地中心部とは10m以上の高低差があり、隣り合った敷地であっても過回りして傾斜地を上げる必要がある。
これより、文化村通りと道玄坂から、この二つの大通りに挟まれた計画敷地までの通りの設計を行うことが、敷地周辺に人を集めるポイントになることが伺える。



4. 敷地周辺のテナント調査

【渋谷区道玄坂二丁目・百軒店】



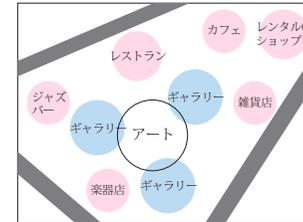
百軒店は、しばや百軒店ともいわれ、かつては渋谷の中心街だった地域であり、カフェやバーなどの飲食店街として賑わっていた。1945年の東京大空襲によって一度は全焼するも、戦後は、喫茶店やバー、大衆食堂、洋食店、映画館が建ち並び、大人が集う繁華街として、再びかつての盛況を取り戻していった。しかし、1970年代に入ると、スペイン坂やセンター街の発展に伴い、街の中心は完全に百軒店を離れ、公園通りなどへと移り変わっていった。現在は、道玄坂や京王井の頭線の渋谷駅から文化村通りへの最短ルートとして、百軒店を通る人が目立っている。

さらに、渋谷区道玄坂二丁目の中の、敷地に面している25丁目、26丁目、27丁目建つビル建築物のテナントを分類してみたところ、やはり、飲食店が全体の1/4を占めていた。このリサーチ結果からも、百軒店周辺はどの時代においても、飲食店と深い関わりがあることがわかる。また、それに次いで多かったのが、ホテルと空きテナントである。この界隈はホテルが多く存在するが、閉店の予定が絶たず、ますます空きテナントが目立ってしまうであろう。

1. 鳥田ビル	2. ネリウナビル	3. アラザ道玄坂ビル	4. 久木野ビル	5. 大林ビル	6. ドン・キホーテ渋谷店	7. ロマーネ80ビル					
1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ					
8. サンシャインビル	9. ベニー清健ビル	10. 小田原ビル	11. カラオケ館(道玄坂ビル)	12. 道玄坂カプトビル	13. 道玄坂視野ビル	14. ペルゴラスクエアビル	15. 松原ビル	16. MKビル(現: 道玄坂ビル)	17. カネダイビル	18. 河久ビル	19. 福田ビル
1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ
20. 小島ビル	21. カスミビル	22. 台商料理 龍郷	23. 美樹ビル	24. ホテルアバンテ(9/29閉店)	25. 日興会館	26. 第二ネリウナビル	27. コアラハウス	28. ドン・キホーテソーコ	29. ゴンズビル	30. 朝香ビル	31. ホテルSK PLAZA
1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ
32. カブセルイン(渋谷(2013年から閉店))	33. ロタルウエスト	34. ロタルイースト	35. ホテルカサンドラ	36. フィフティーン・ラブ	37. ホテルR25	38. ひまわりビル	39. トップルーム 道玄坂	40. ホテルハリス	41. ホテル ヴィオラジェリア	42. トーク道玄坂	43. 愛知病院
1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ	1階: レストラン 2階: カフェ 3階: ギャラリー 4階: アート 5階: 楽器店 6階: ギャラリー 7階: 雑貨店 8階: レンタルCDショップ 9階: カフェ

5. 提案

【街からの更新方法】



一度、敷地周辺の立ち寄りやすい店舗を通し、そこから派生したアートとの中間領域的空間を設計する。

【敷地周辺からの動線】



敷地の周辺で人の多く集まっている箇所から敷地に向かって動線をつくっていく。
まずは人々を敷地に呼び寄せることを意識し、人の多く集まる既存ビルの、大通りとは反対側に入り口を設け、高台に人が流れれることを期待する。
さらに、百軒店からも人々が高台に流れやすい経路を設計する。これらが基本となる大きな経路となる。

【展示空間の動線】

従来の日本の展示空間 提案する展示空間



従来の日本の展示空間では、一筆書きで全ての展示空間が見られるように設計するが、気軽にアートを感じられる空間とするには、歩く動線の途中で作品に出会えることが重要だと思い、好きなどころから入って、目的に近いところに出来る空間を目指した。

【建築の形態】



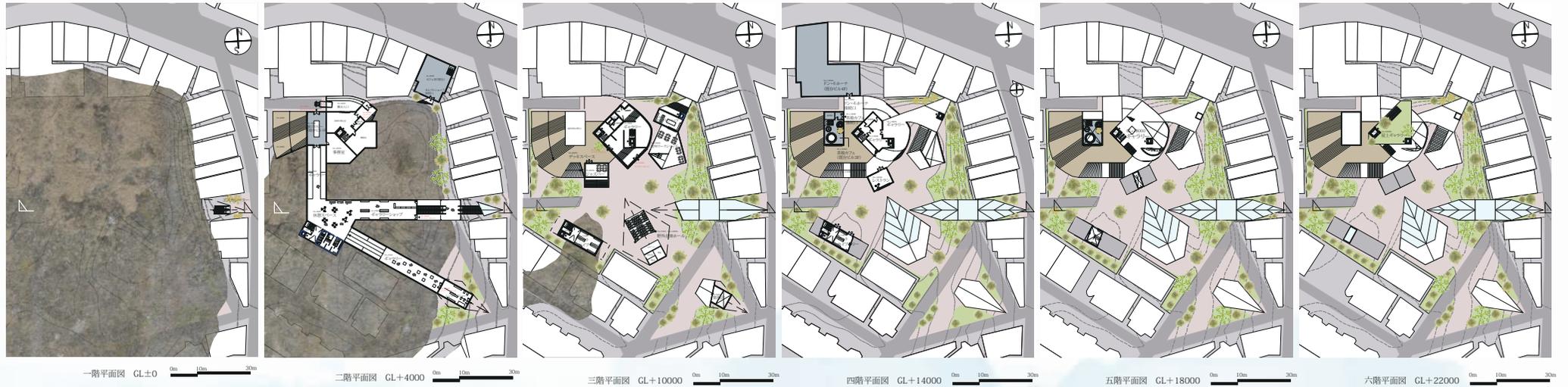
歩行者の目を引きつけるユニークなデザインとするために、建築形態の主体となるアーチイステックなモチーフを考えていった。その結果、日本の文化と芸術を融合し形態的な美しさを兼ね備えた折り鶴を選択した。
大通りから敷地までの傾斜を活かし、鶴が「飛び立つ」、「旋回する」、「群れる」などの動作を建築で表現することで、渋谷の谷底から人々がアート空間に這い上がっていくように仕上げた。



百軒店と敷地を結ぶエスカレーター



6. 平面図



7. 断面図

